

県立高校の適正規模について

H19.4.16 高校教育課

1. 小規模化の問題点

(1) 学習面

配置教員数の制約...法定数による配置。

- ・各教科に必要な教員数の配置が困難。
- ・それに伴い、各教科においてさまざまな専門性を持った教員の確保が困難。

(学習面のみならず、部活動における指導者確保という点でも同様)

カリキュラムの制約

- ・カリキュラムが画一的となり、学習内容の選択幅が狭い。

...生徒それぞれの興味関心や進路希望にそった科目の設定が困難。

実態として、小規模校では放課後の個別指導によってカバーしているが、教員の個人的努力に負うところが大きく、システムとして機能していない。

- ・教員が専門外科目を担当するケースが生じる。特に理科と地歴・公民科。

〔例1〕 普通高校における教科教員数 (標準的なパターン)

規模/教科	国、数、英	地歴・公民、理科
5学級	各6～8名	各5～6名
4学級	各5～6名	各4～5名
3学級	各4～6名	各3名
2学級	各3名	各2名
1学級	各1名	各1名

・進学希望(特に国公立大学)に対応するためには、地歴・公民4科目(世史、日史、地理、現代社会or政経or倫理)と、理科3科目(物理・化学・生物)の開設が必要。

3学級以下では地歴・公民、理科の担当教員の確保が難しい。
(*生徒の受験ニーズを勘案すると、理、地歴・公民ともに6名以上の配置が理想。その場合、6学級規模が必要となる。)

〔例2〕 専門高校における教科教員数 (標準的なパターン)

規模/教科	国、数、英	地歴・公民、理科
4学級	各2～4名	各2～3名
3学級	各2名	各1名
2学級	各1名	地歴・公民1名
1学級	(設定不可能)	

・近年、専門高校も進学者が半数近く(もしくはそれ以上)を占める状況。普通教科担当教員の役割が重くなりつつある。

・2学級では運営困難。(専門教科担当教員による普通科目指導も)

・1学級では普通教科担当教員の配置そのものが不可能。

〔例3〕 芸術科目 音楽・美術・書道 の設定 (標準的なパターン)

規模/教科	普通高校	専門高校
5学級以上	3科目から選択(教員2名が常勤)	2～3科目から選択(教員1～2名が常勤)
4学級	3科目から選択(教員1～2名が常勤)	
3学級	2～3科目から選択(教員1～2名が常勤)	1科目(常勤)or2科目(常勤なし)から選択
2学級	2科目から選択(常勤配置なし)	1科目のみ(常勤配置なし)
1学級	2科目から選択(常勤配置なし)	なし

(2) 課外活動など学校生活全般

- ・ 高校三年間は、子供から大人への一步手前の大切な時期である。
- ・ この時期においては、多様な個性や価値観を持った友人と出会い、部活動、生徒会活動、学校行事といった集団活動の中で互いに切磋琢磨しながら、現代社会を自ら生き抜くたくましさや、社会性・協調性を培うことが重要である。
- ・ そのために、高校は小学校や中学校よりも広い地域から生徒が集まり、しかも、一定以上の(できれば小学校、中学校よりも大きい)規模を有していることが望ましい。

部活動

- ・ 教員及び生徒が少ないため、部活動の種類が限定される。

1学年の学級数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	H18年度の 募集学級数 による分類 (同好会を含む)
部数 (平均)	体育系	4.4	8.5	8.6	10.4	13.0	14.5	17.0	16.0	18.0	
	文化系	4.2	6.2	8.3	11.6	15.3	18.5	17.0	19.0	22.0	
	計	8.6	14.7	16.9	22.0	28.3	33.0	34.0	35.0	40.0	

- ・ サッカー、バスケットボール、硬式野球といった団体競技の運営に困難が伴う。
(それらの部の部員が安定的に確保された場合、今度は他の部活動運営に影響)

学校行事

- ・ 学園祭(体育祭、文化祭)における企画内容が限定される。

全体的に学校の小規模化が進行すれば、教育上支障を来す高校の割合が上昇し、結果的に、不十分な教育環境のもとで学ぶ生徒の数も増加していくこととなる。

(3) 参考

全国の適正規模の設定状況 (平成18年7月他県調査による)

4～8学級	...	28県(60%)
6～8学級	...	7県(15%)
6学級	...	3県(6%)
8学級	...	3県(6%)
3～8学級	...	1県(2%)
5～8学級	...	1県(2%)

適正規模...有43、無3、検討中1

2. 学校規模と教員数

【普通高校】

	H18 総学級数	H18 学校数	H18 収容 定員	H18 教員数 (平均)	収容定員 / 教員数 (平均)
1	3	4	120	8.8	14.0
2	5	1	200	17.0	11.8
3	6	2	240	17.5	13.8
4	9	1	360	25.0	14.4
5	11	1	440	31.0	14.2
6	12	2	480	30.5	15.7
7	13	1	520	33.0	15.8
8	15	3	600	38.7	15.5
9	20	1	800	50.0	16.0
10	21	1	840	53.0	15.8
11	25	3	1,000	57.3	17.4
12	27	1	1,080	62.0	17.4
合計	274	21	10,960	690.0	319.4
平均	13.0		521.9	32.9	15.2

【専門高校】

	H18 総学級数	H18 学校数	H18 収容 定員	H18 教員数 (平均)	収容定員 / 教員数 (平均)
1	5	1	200	22.0	9.1
2	6	3	240	21.3	11.3
3	9	2	360	29.5	12.2
4	12	2	480	36.0	13.3
5	14	1	560	40.0	14.0
6	15	1	600	46.0	13.0
7	18	1	720	53.0	13.6
8	21	1	840	64.0	13.1
合計	133	12	5,320	420.0	147.7
平均	11.1		443.3	35.0	12.3

【併設高校】

	H18 総学級数	H18 学校数	H18 収容 定員	H18 教員数 (平均)	収容定員 / 教員数 (平均)
1	5	1	200	14.0	14.3
2	7	1	280	22.0	12.7
3	9	2	360	25.5	14.1
4	12	1	480	35.0	13.7
合計	42	5	1,680	122.0	69.0
平均	8.4		336.0	24.4	13.8

【全面総合学科高校】

	H18 総学級数	H18 学校数	H18 収容 定員	H18 教員数 (平均)	収容定員 / 教員数 (平均)
1	12	1	480	37.0	13.0
2	15	1	600	44.0	13.6
合計	27	2	1,080	81.0	26.6
平均	13.5		540.0	40.5	13.3

教員数には、兼務者(教育庁勤務)、内地留学者、休職者及び組合専従者を除く。
休職補充、内地留学補充を含む。
併設高校とは、複数学科を併設する高校である。